

港自工 株式会社 様

豊橋商工会議所 第12回 環境経営賞

奨励賞

環境に配慮した欧州型カーボンニュートラルを目指した
ハイブリッド型膜構造建築物の研究事業

【表彰理由】

港自工株式会社は、東三河輸送センターの発足の際に豊橋自動車工業から分社し、現在に至っている。大型車両に特化した県内でも有数の整備工場である。激変する時代と共に進化する車両にも対応すべく、最新設備の導入を進めるとともに最新知識の習得と技術レベルの向上に努めており、充実した設備環境・技術環境のもとで、車検・点検から修理、板金、塗装に至る整備を一貫して行っている。また、最近は、ロードオブキングと云われるスウェーデンのスカーニアトラックを中心に新車販売とサービスも手掛けている。スカーニア・ジャパンの正規ディーラーでもある。

今回の申請事業は、同社が明海地区に昨年6月にオープンした「明海VPC (Vehicle Preparation Center)」に関するものである。納品車両の整備・点検に特化し、おしゃれな雰囲気を持つ引き渡しセンターであり、顧客の満足度向上を見込んでいる。同センターは環境・省エネを意識して建築された。全体は膜構造(鉄骨テント構造)で建築されており、内装には木毛セメント板(リボン状に削り出した木材をセメントペーストで圧縮成型した建材)・ソリド板(火力発電所で発生する石炭灰と廃コーヒー豆から形成した建材)が使われている。膜構造は透光性が適当なため、内部は明るく、夏は涼しく(遮光効果)、冬は暖かい(温室効果)という特徴があり、ランニングにおいて節エネに大きな貢献が見込める。また、工期が短い、地震に強いなどのメリットもある。

上述のとおり、節エネの観点からカーボンニュートラルに大きく貢献できる構造の建築物を新設した点から、「環境経営」として評価でき、今後も環境への配慮やカーボンニュートラルを意識した取り組みに期待できる。

以上の理由から、本事業に「豊橋商工会議所 環境経営賞 奨励賞」を贈り、顕彰する。

令和6年3月27日

豊橋商工会議所 環境経営賞 審査委員長
稲垣 隆司

